

第 7 回朝来市議会定例会一般質問通告書（代表質問）

番号	1	質問者	能 見 勇八郎	平成 3 1 年 3 月 5 日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 市長の施政方針について				会派の平成 31 年度政策要望にかかわり、施政方針から以下を問います。 1 観光政策について （１）第 2 次朝来市観光基本計画について （２）竹田城跡を拠点とした周遊観光やインバウンド観光の推進について （３）観光交流キャンペーン事業の推進について 2 起業及び企業誘致について （１）経済成長戦略事業の推進について （２）地域産業創出支援事業の推進について （３）企業誘致促進事業の推進について （４）黒川地域の活性化に向け、エリアマネジメントの取り組みについて 3 農林業について （１）朝来市農業推進戦略プランの推進について （２）夜久野高原開発事業の推進について （３）森林経営管理事業の実施について	市 長
タ イ ト ル		市 長 の 施 政 方 針 に つ い て			

第7回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	1	質問者	嵯峨山 博	平成31年3月5日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 児童虐待について				児童虐待により子供が亡くなる痛ましい事件が大きな社会問題となっている。本市においてもこのような事件が発生してはならないし、最大限の努力をしなければならないと考える。 （1）本市において相談件数など現状はどのようになっているかお伺いします。 （2）虐待防止に向けた取り組みや現在の対応についてお伺いします。 （3）こども園・小中学校において、虐待を疑うケースが発見された場合の対応はどのようにされているのかお伺いします。 （4）虐待防止に向けた対策強化をどのように考えているかお伺いします。	市 長 教育長
2 認知症について				家族の中に認知症の方がいることを地域住民に知ってもらい理解してもらうことで、認知症の方を守ることにつながるのではないかと考える。 （1）認知症や徘徊リスクのある方、行方不明になる可能性のある方の人数はどのように推移しているか、お伺いします。 （2）認知症の予防や対策に対する様々な施策を行っているが、課題や今後の取り組みをどのように考えているのかお伺いします。	市 長

		(3) 認知症の方を含む高齢者にやさしい地域づくりの推進を考えておられるが、地域内において誰がどのような状態であるか、把握できていないのが現状ではないかと考える。愛知県大府市では認知症見守り体制の構築の一環として、平成 21 年から市域を区切って「徘徊搜索模擬訓練」が行われている。今後、本市においても取り入れてはと考えるが、市長はどう思われるかお伺いします。	
3	少人数校のあり方について	少子化が進み、今後、今以上に生徒数が減少する事が予想される。現状において市内の小中学校（少人数校）の統合等どのように考えているかお伺いします。	教育長
4	公共施設再配置基本計画を進めることについて	今後、公共施設再配置基本計画を実行するにあたり市民の理解が得られるよう、市民へ丁寧な説明を行うことが必要であるが、市長はどのように考えているのかお伺いします。	市 長
タ イ ト ル		市民が暮らし易いまちの実現を	

第6回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	2	質問者	西 本 英 輔	平成31年3月5日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 小中学校における標準定数について				(1) 小学校の1学級の人数に標準定数等の規定はあるのか。 (2) 来年以降、標準定数に近い学級編成（小学1年生31人以上、他学年36人以上）の学級は増加するのか。 (3) 近い将来において、市内で複式学級での学級編成となる小学校が誕生する可能性はどのくらいあるのか。 (4) 学年による標準定数の差異により、また標準定数丁度であった学年が転校などの理由で減員した場合、翌年度には2学級から1学級、また複式学級での学年編成となるのか、それとも現状を維持できるのか。 (5) 小学校・中学校の教室の面積に基準はあるのか。また、市内小中学校の教室の面積はどのくらいか。 (6) 朝来市内の小学校において1年生で35人学級、2年生以上で40人学級という標準定数での学級編成になった場合、児童1人あたりの専有面積はどのくらいになるのか。 (7) 標準定数に近い学級編成は従来に比べ随分と窮屈な学習環境であり、特性のある児童にとっても優しい環境とは言い難く、また担当する教諭にとってもかなり	市 長 教育長

	の負担となることなど、様々な影響が予想される。教育長はそういった状況について、どのように感じられるか。 (8)「公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律」において1学級の標準定数が定められているのは理解するが、特に小学校1年生時の教育は本格的な教育の第一歩である。朝来市においてより充実した初等教育を施すためにも、県教育委員会へ緩和に向けた働きかけをすることには大きな意義があると思うがどうか。	
2 スクールバスでの登下校時の安全について	(1) スクールバス乗降場所周辺における安全性の確保のために、どのような取り組みをされているか。 (2) 現在、スクールバス乗降場所周辺には乗降場所を示す看板はあるが、児童が自宅から乗降場所までを通学路として利用していることを周知するサインはないように感じる。登下校時の安全面をより確保するため、対象となる子供をもたない市民の方にも周知する手立てを実施するべきではないか。	市 長 教育長
3 学校給食について	(1) 学校給食センターが共用開始され3年が経過したが、児童生徒、また保護者の評価はどのようなものか。 (2) 学校給食において異物の混入が目立った時期があったが、現在、そういった事例は報告されているのか。 (3) 学校給食において集団食中毒が発生した場合、医療機関・消防との連携を含め	市 長 教育長

	た対応マニュアルは作成されているのか。作成されているのならば、それはどのような内容か。 (4) 食育に関する取り組みはどのようになされているか。	
4 歴史文化と学校教育について	(1) 古代あさご館や各郷土資料館の利用者数はどのように推移しているか。 (2) それぞれの入館者の内、朝来市民、特に小学生はどのくらいいるのか。 (3) 道の駅まほろばの利用者の内、どの程度が古代あさご館の入館へ繋がっていると感じておられるか。 (4) 古代あさご館や茶すり山古墳等は他施設と比べ、観光客に朝来市の古代ロマンをPRできる絶好の施設であると考え。誘導看板や駐車場の整備等、より観光客を誘致する手立てを実施するべきではないか。 (5) 郷土の歴史を知ることは郷土への誇りに繋がると考える。待ちの姿勢ではなく、郷土愛の醸成を図るべく積極的な小学校への出前講座を行うべきではないか。	市 長 教育長
5 ゴールデンウィークの対応について	(1) 本年のゴールデンウィークは4月27日の土曜日を含めると、最大10連休となるが、朝来市内の市役所機能や教育機関、朝来医療センター、南但休日診療所、学童クラブ、こども園等はどのように運営されるのか。 (2) 市内の医院・クリニックなどがどのように運営されるか、把握されているか。	市 長 教育長
タ イ ト ル	充 実 し た 学 習 環 境 を	

第 7 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	3	質問者	足立義美	平成31年3月5日	
質問事項				質問要旨	答弁を求める者
1 森林環境税について				朝来市の森林管理の課題として、間伐の遅れ、多くの不在地主、林業従事者の高齢化などがあげられます。このような中、2024 年度に森林環境税が創設されることになりました。 また、課税に先行して、平成 31 年度から市に対し森林環境譲与税の譲与が始まります。 本市の平成 31 年度予算案では、新たに「森林経営管理事業基金」を設け、森林環境譲与税の一部を積み立てるとされています。そこで市長にお尋ねします。 （１）本市では、これまで地球温暖化防止対策として、どのような取り組みをされてきましたか。 （２）カーボン・オフセットについて、本市では、市行造林等で実施されているようですが、これまでの実績はどの程度ですか。 （３）森林環境税とよく似た制度に、兵庫県が賦課している県民緑税がありますが、本市では、これまでどのような事業に活用されてきましたか。また、森林環境税とのすみ分けはどうなりますか。 （４）森林環境譲与税は、徐々に増額され、数年後には、相当の金額になると思いま	市長

	すが、使途についてどのように考えられていますか。 (5) 生野の木質バイオマス発電は、持ち込まれる木材が計画を大幅に下回ってよう ですが、今後、回復する見込みはありますか。	
2 生活保護の適正実施等について	生活保護は、憲法第 25 条の理念に基づいた健康で文化的な最低限度の生活を保障 する最後のセーフティーネットであり、保護を必要とする方が、適正に利用できるよ うにしなければなりません。 本市では、生活困窮者相談窓口を常時開設し、生活保護に至らない人に対しても相 談ができるようにされています。相談者に対しては、その後のフォローアップをぜひ 実施していただき、経済的にも住みやすい市となるよう願っています。そこで市長に お尋ねします。 (1) 平成 29 年度の本市の生活保護の相談件数、申請件数、認定件数は何件ですか。 (2) 申請に至らなかった、認定に至らなかった、主な理由はどのようなものですか。 (3) 本市の保護率は、相当低いとお聞きしますが、県下で何番目ですか。低い要因 としてどんなことが考えられますか。 (4) 近年の本市の保護率は、上昇傾向、あるいは下降傾向ですか。 (5) 高齢者世帯の保護が多いと思いますが、本市の保護世帯の類型はどうなってい ますか。 (6) 自立支援対策として、どのような取り組みがされていますか。また、ハローワ	市 長

	ークとの連携はされていますか。 (7) 就労促進には、通勤手段の確保が重要と考えますが、自動車の保有を容認しているケースはありますか。 (8) 住宅は、原則として保有容認と思いますが、売却指導のケースはありますか。 (9) 国民年金加入率は、将来の保護率に大きく影響すると思いますが、市の年金加入率は、どのようになっていますか。	
3 立雲峡・竹田城跡のPR強化等について	本市の平成31年度予算案では、竹田城跡を拠点とした周遊観光やインバウンド観光に取り組もうとされています。竹田のまちなかの案内サインの整備は、城下町の魅力を伝えるのに十分寄与すると期待しています。 竹田城跡は、58万人をピークに一時のブームは去りましたが、平成31年度の目標として、竹田城跡で20万人、立雲峡で10万人の入込客を見込まれています。 「日経何でもランキング」の「冬こそ必見の暗夜に浮かぶ城」の部で全国10位と健闘しました。また、竹田城跡から、山城では珍しい石畳が出土するなど、新たな魅力も発見されています。 さらに、「天空の城竹田城跡で癒す！“天空ヨガ”体験」が2月27日から3月1日に幕張メッセで展示・紹介されました。そこで市長にお尋ねします。 (1) 市道立雲峡線の整備により、立雲峡から竹田城跡を展望する観光客が大幅に増加しています。しかし、立雲峡単独の観光パンフレットがありません。雲海につ	市長

	いて詳細に記載した立雲峡単独の観光パンフレットの必要性について、どうお考えですか。 (2) 立雲峡と竹田城跡をセットにした観光コースを旅行エージェント等へ提案することについて、どうお考えですか。 (3) 冬季閉山期間は、城下町も閑古鳥が鳴く状況で、新規開業業者をはじめ、たくさんの事業者が閉山期間の短縮を望んでいますが、この現状をどうお考えですか。 (4) 冬期を中心に史跡の適切な保護のための保護工事が実施されていますが、冬期以外でも実施すれば、新たな集客策として有効と思いますが、どうお考えですか。 (5) 旧和田山医療センター跡地の整備が出来つつあります。跡地利用については、その重要性に鑑み、性急な結論は出さず、当面は竹田城跡の展望所として位置づけるべきと思いますが、どうお考えですか。	
タ イ ト ル	豊かな緑・心の朝来市を目指して	

第 7 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	4	質問者	吉 田 俊 平	平成 3 1 年 3 月 5 日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 障がい者施策について				（１）文部科学省や厚生労働省のＨＰには、「障害者制度改革の推進のための基本的な方向（第一次意見）」として、障がい者制度改革推進会議が平成 22 年 6 月 7 日にまとめた資料が掲載され、そこには「第 4 日本の障害者施策の経緯」として、これまでの障がい者施策が詳細に記載されているが、現行の障がい者施策や制度に矛盾や問題点はないか、伺う。 （２）宝塚市が障がい者の表記を「碍(がい)」に変更した。私は平成 23 年 10 月 6 日に平仮名の「がい」などとし表記には注意すべきと指摘したが、その後どのような検討がなされたのか。 （３）障がい児福祉サービスの無償化が当初予算では見送られた。いつ実現するのか。 （４）平成 31 年度当初予算（ユニバーサルスポーツ用品購入）から障がい者スポーツの推進が始まるが、パラリンピックのホストタウンとして選手団の受け入れを検討しないか。	市 長
2 子どもの権利について				（１）私は平成 25 年 9 月 11 日に子どもの貧困について質し、兵庫県の「ひょうご子ども・子育て未来プラン」の問題点も指摘したが、その後に調査すら行われてい	市 長

	ない。その事は大いに反省し、今後に「地域子供の未来応援交付金」を活用して調査を行う考えはないか。 (2) 昨今の国内で虐待が頻発している現状を鑑み、1994 年に批准した「児童の権利に関する条約（子どもの権利条約）」の精神を反映した仮称「子どもの権利条例」を制定する考えはないか。	教育長
3 朝来市健幸長寿なまちづくり推進条例の制定について	(1) 平成 29 年 3 月 7 日に私案として「朝来市健幸長寿なまちづくり推進条例」を提案し、2 年が経過した。平成 31 年度こそは条例制定を実現させたいが、市長の見解を伺う。	市 長
4 コンビニ交付サービスについて	(1) コンビニ交付サービスは今後の I C T 化の流れの中で私は早期に実施すべきと考えるが、窓口時間の延長はコンビニ交付サービスとの二重サービスとならないか。	市 長
5 出生祝金支給事業について	(1) 平成 31 年度に事業終了するとのことだが、平成 22 年 12 月定例会で私が指摘した、出産に掛かる費用と出産育児一時金の差（5 万円）は解消されたのか。また、多次市長が条例提案時に「本条例の効果として、第 1 には子育てにおける経済的支援の一助、あるいは第 2 が少子化対策の一環というようなことから、人口増へつながることを期待している。」と答弁した条例目的は達成されたのか伺う。	市 長
タ イ ト ル	障がい者施策の真の実現を目指せ	

第 7 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	5	質問者	岡田和之	平成31年3月6日	
質問事項				質問要旨	答弁を求める者
1 国民健康保険について				(1) 国民健康保険税の減免について 国民健康保険条例第 26 条では、国民健康保険税の減免について定められています。しかし、2017 年度の本市の減免世帯は 7 世帯であり、国保加入世帯に対する割合は、近隣の豊岡市、丹波市と比較して約 1 / 3 であり、減免制度の利用率は低いのが実態です。過去数年の減免世帯数をお尋ねします。また、その理由についてお尋ねします。 (2) 一部負担金の減免等について 国民健康保険法第 44 条の規定に基づいて、本市でも取扱要綱を定めて一部負担金の徴収猶予、減額または免除の取り扱いが定められています。しかし、本市の減免等の件数は 2017 年度で 0 件となっています。過去数年の実態と、その理由についてお尋ねします。 (3) 短期保険証の発行について 資格証明書から短期保険証への切り替えについて、加入者に特別な事情がある場合はどのように対応されているのかお尋ねします。	市長

2 補聴器への公的補助について	(1) 80 代の方の約 9 割は補聴器が必要な聴力になっているといわれています。しかし、補聴器は高額で買うのをためらう方もおられます。ところで、欧米では補聴器の購入に対する公的補助制度を持つ国があり、難聴者の補聴器使用率は公的補助制度のない日本の約 2 倍になっているとの調査があります。加齢性難聴者にとって補聴器の使用は家族や友人との意思疎通を容易にし、認知症予防にもつながります。加齢性難聴者に対する補聴器購入の公的補助制度について、どのようにお考えになるのかお尋ねします。	市 長
3 小中学生の教材について	(1) 小中学生の登下校におけるランドセルやカバンの重量化が指摘されています。児童生徒の身体への影響が心配されています。児童生徒の身体的負担を軽減するためにも対応が求められていますが、どのような対策をされるのかお尋ねします。	教育長
タ イ ト ル	国保の減免状況・補聴器への補助	

第7回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	6	質問者	藤 原 正 伸	平成 3 1 年 3 月 6 日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 地域自治協議会について				(1) 朝来市の地域自治協議会制度の現状について (2) 将来的に地域自治協議会が担うべき役割、及び行政との関係性について	市 長
2 ケーブルテレビについて				(1) ケーブルテレビの現状について (2) 朝来市における効果的な情報伝達の手段としてのケーブルテレビに期待する役 割について	市 長
タ イ ト ル		地 域 協 働 を 考 え る			

第7回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	7	質問者	鈴木逸朗	平成31年3月6日	
質問事項				質問要旨	答弁を求める者
1 自衛官適齢者名簿について				(1) その後の名簿の提供依頼はどのように扱われているか。	市長
2 文化会館の改修整備について				(1) ジュピターホールのトイレの和式、洋式の現状は。 (2) 洋式化への取り組みは。	市長
3 教職員を増やし、異常な長時間労働の是正を				(1) 市内教職員の長時間労働の実状は。 (2) 保育士の勤務時間の把握は改善されているか。 (3) 教職員の勤務時間把握への対応は。	市長 教育長
タイトル		教職員の長時間労働の是正を			

第 7 回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	8	質問者	藤 本 邦 彦	平成 3 1 年 3 月 6 日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 「新規就農者研修制度」について				（１）現在朝来市において農業の担い手を確保することは大変重要な課題である。高齢化する農家やその集落では地域の農業の将来を悲観する声が大半であると感じる。そのような中、農業の若い担い手を育てるために市が取り組んでいる「新規就農者研修制度」に期待する声を聞くがどのような制度か。 （２）研修制度の効果はどうか。成果は出ているか。 （３）研修生を受け入れる農家の声はどうか。受け入れ農家は増えているか。 （４）研修生の生活はどうか。問題は起きていないか。解決すべき課題などないか。 （５）農業推進戦略プランでは研修生を 50 人にすることを目標として掲げているが、この数字にはどのような意味があるのか。 （６）研修生を増やし、新規就農者をさらに増やす上で今後課題となることは何か。住居はあるのか。農地はあるのか。農業機械はどのようにして揃えるのか。 （７）3 年の研修期間を終えた研修生が市内で就農するためには地域の協力が必要と思うがどうお考えか。 （８）地域で若い新規就農者が活躍すれば地元の若者への影響も考えられるが地元の若い方から就農の相談などはあるか。	市 長

		(9) 戦略作物として岩津ネギの増産を目指しているが、岩津ネギの生産には大変な労力と時間がかかり生産者の負担は大きく、その上昨年末はＪＡの買取価格が低かったため今年が生産者が減少することも危惧される。その一方で独自の販売ルートを持つ生産者はあまりに多い注文にネギが足りず困っているという声も聞く。こういった状況をどのようにお考えか。 (10) 朝来市の農業の未来は明るいか。若い就農者たちの活躍に大いに期待する。地元の若者、帰郷して実家を継いだ若者、そして多くの移住者の若者たち。彼らはすでに朝来市の農業を新しい時代に導きつつある。しかし、彼らが十分に力を発揮出来ないでいる場面も目にする。地域や農業の現場では農業の未来を見据えた話し合いがもっと必要だろうと感じる。朝来市の農業は、担い手においても仕組みづくりにおいても、これからいよいよ本格的な「世代交代」に取り組まなければならないと感じるが、市長はどのようにお考えかお尋ねする。	
タイトル	朝来市の農業の未来は明るいか		

第7回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	9	質問者	森 下 恒 夫	平成31年3月6日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 施政方針について				（1）行財政改革を積極的に進めるとあるが、財政の現状と将来見通しに対する認識は。 （2）低下するコミュニティ機能の再構築を図りながら、地域協働の核である地域自治協議会など地域力を高め、維持する取組を支援するとあるが、コミュニティ機能の低下の実状をどの様に捉えどの様な支援を考えているか。 （3）普通交付税の合併特例分が縮減されることにより、普通交付税が2億960万円減となっている。今後の見通しは。 （4）駅前活性化事業がスタートし又、和田山駅南北自由通路についても検討を始めるとのことであるが、投資を無駄にしないためには駅北の活用も同時に考えるべきと考えるが所見は。 （5）夜久野高原開発事業が着手される。中でも景観形成区域計画は今後の朝来市の観光を考える上で大変重要と考えられる。構想の中身は。	市 長
2 認知症対策について				（1）高齢者の人口と認知症の現状は。	市 長
タ イ ト ル		地に足つけた政策で未来を築こう			

第7回朝来市議会定例会一般質問通告書（個人質問）

番号	10	質問者	日 下 茂	平成31年3月7日	
質 問 事 項				質 問 要 旨	答弁を 求める者
1 朝来市の創出について				(1) 朝来市の最重要施策は何か。 人口減少、経済活性化、人材育成、社会福祉にどう取り組んだか。また、今後どう取り組むか。	市 長
2 特色ある学校事業				(1) 小中学生に郷土愛をどう指導するか。 ふるさと教育、キャリア教育、生涯学習、社会教育にどう取り組むか。	市 長 教育長
タ イ ト ル		朝来市生き残りは大企業誘致だ！			